

《Lesson 3》 文型を構成する 4つの要素

英語の文法を解説する際、よく S, V, O, C といった文字が使われます。

S = 主語 (Subject) V = 動詞 (Verb)
O = 目的語 (Object) C = 補語 (Complement)

(1) S = 主語 (Subject)

- ・日本語では「～は」「～が」と主に訳される部分。
- ・主に主語になるのは以下の2つ。
 - (a) 名詞（ここでは「冠詞」「所有格」「形容詞」などが名詞につく場合も含める）
 - (b) 代名詞

<例> **He** plays soccer. (彼は、サッカーをします) 【S = He】
My dog likes this. (私の犬は、これが好きです) 【S = My dog】
Dancing is fun. (ダンスをすることは、楽しいです) 【S = Dancing】

(2) V = 動詞 (Verb)

- ・日本語では「～です」「～します」と主に訳される部分。
- ・主に動詞となるのは以下の3つ。
 - (a) be動詞
 - (b) 一般動詞
 - (c) 動詞のフレーズ（進行形 = be 動詞 + 一般動詞ing、助動詞 + 動詞など）

<例> **I am** a teacher. (私は教員です) 【V = am】
She has a guitar. (彼女はギターを持っています) 【V = have (has)】
He must wear this. (彼はこれを着ないといけません) 【V = must wear】

(3) O = 目的語 (Object)

- ・動詞が表す動作などの対象となる語。
- ・主に一般動詞の文に登場する（基本的にbe 動詞の文には登場しない）。
- ・主に目的語になるのは以下の2つ。
 - (a) 名詞（ここでは「冠詞」「所有格」「形容詞」などが名詞につく場合も含める）
 - (b) 代名詞

<例> They bought **a new camera**. (彼らは新しいカメラを買いました) 【O = a new camera】
 <「買ったのは何か? → 新しいカメラ」と a new camera は bought の対象となっている>
I like **eating**. (私は食べることが好きです) 【O = eating】
 <「好きなのは何か? → 食べること」と eating は like の対象となっている>
He needs **you**. (彼にはあなたが必要です) 【O = you】
 <「必要なのは何か? → あなた」と you は need の対象となっている>

(4) C = 補語 (Complement)

- ・主語や目的語が「どういうものなのか?」「どういう状態なのか?」を説明する語。
- ・「be 動詞の文」や become / look などの「主語の様子を表す動詞の文」に登場する。
- ・主に補語となるのは以下の3 つ。
 - (a) 名詞 (ここでは「冠詞」「所有格」「形容詞」などが名詞につく場合も含める)
 - (b) 代名詞
 - (c) 形容詞

<例> He is **a science teacher**. (彼は理科の先生です) 【C = a science teacher】
く「彼はどういう人なのか? → 理科の先生」と a science teacher が he を説明している)

I am **hungry**. (私は空腹です) 【C = hungry】
く「私はどういう状態なのか? → 空腹」と hungry が I の状態を説明している)

You look **tired**. (あなたは疲れて見えます) 【C = tired】
く「あなたはどういう状態なのか? → 疲れている」と tired が you の状態を説明している)

【ポイント! 副詞や副詞句は修飾語の「M」】

fast / slowly や today / yesterday のような副詞、また every day / on the floor のような副詞句 (副詞として使われるフレーズ) は、S、V、O、C ではなく修飾語の「M (Modifier)」となります。Mは、S、V、O、C のような主要素ではありませんが、英語の文ではよく登場します。

<例> He can run **fast**. (彼は速く走れます) (M = fast)
We finished this **at six**. (私たちはこれを6時に終わりました) (M = at six)